

※※2008年8月改訂(第3版)
※2006年2月改訂(第2版)

カルシウム剤
日本薬局方

日本標準商品分類番号	873219
承認番号等	(61AM)1609
薬価収載	薬価基準収載
販売開始	1986年3月
再評価結果	1986年12月

※※リン酸水素カルシウム水和物

貯 法:密閉容器 室温保存

リン酸水素カルシウム「三恵」

使用期限:容器に記載

※※ Dibasic Calcium Phosphate Hydrate

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- (1) 高カルシウム血症の患者〔症状を悪化させることがある。〕
- (2) 腎結石のある患者〔症状を悪化させることがある。〕
- (3) 重篤な腎不全のある患者〔カルシウム排泄低下により、高カルシウム血症があらわれるおそれがある。〕

【組成・性状】

※※ 1. 組成

本剤1g中、日局リン酸水素カルシウム水和物1gを含む。

2. 製剤の性状

本剤は白色の結晶性の粉末で、におい及び味はない。水、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。希塩酸又は希硝酸に溶ける。

【効能・効果】

- 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
くる病、骨粗鬆症、骨軟化症
- 妊娠・授乳時におけるカルシウム補給

※※【用法・用量】

リン酸水素カルシウム水和物として、通常成人1日3gを3回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
- (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害することがある。同時に服用させないこと。	テトラサイクリン系抗生物質は、カルシウムイオンと消化管で難溶性のキレートを形成し、吸収が阻害されることがある。

4. 副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効薬理】¹⁾

本剤は妊娠、授乳、骨カルシウム沈着減少時などカルシウムとリン酸塩の要求が増すときに、カルシウムとリン酸塩の補給源として一般に用いられる。胃腸から吸収される程度は、グルコン酸又は乳酸塩に劣るといわれる。カルシウムのみが必要なときはグルコン酸カルシウムや乳酸カルシウムの方がすぐれている。しかし食物の強化としてのカルシウム及びリン酸塩の双方が必要であるときには本剤が用いられる。

※※【有効成分に関する理化学的知見】

一般名:リン酸水素カルシウム水和物
化学名:Dibasic Calcium Phosphate Hydrate
分子式: $\text{CaHPO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$
分子量:172.09

【包装】

500g

【主要文献】

1) 第XIII改正 日本薬局方解説書 広川書店

【文献請求先】

株式会社 三恵薬品 品質管理室
〒441-8033 愛知県豊橋市入船町21番地
TEL<0532>45-6136

※ 製造販売元

株式会社 **三恵薬品**

〒441-8033 愛知県豊橋市入船町21番地